

Press Release



2025年2月28日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、宮城県に企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施 宮城県が展開する「みやぎ沿岸の森づくりプロジェクト」に活用

トランスコスモスは、企業版ふるさと納税を活用し、宮城県への寄付を実施しました。2月6日、宮城県庁において感謝状の贈呈式が開催されました。



写真左:宮城県 副知事 小林徳光(のりみつ)様
写真右:トランスコスモス 執行役員 金田浩充

トランスコスモスは宮城県仙台市に4拠点を設け、コンタクトセンター・デジタルマーケティング・BPO サービスを提供しており、約1,600人の従業員を雇用しています。今回の寄付は、長年にわたり事業を支えていただいている自治体への感謝を表明するとともに、多くの従業員が生活する自治体の取り組みを支援することを目的としています。

寄付金は、宮城県が展開する「みやぎ沿岸の森づくりプロジェクト」に活用されます。地球温暖化の主要因である二酸化炭素の吸収・隔離のための、藻場の造成・保全と海藻養殖の増産に向けた取り組みに役立てられます。

「みやぎ沿岸の森づくりプロジェクト」について：<https://miyagi-coast.jp/bcp/>

トランスコスモスでは、社会課題の解決に取り組むことで、企業としてのソーシャルインパクトを拡大し、社会全体の Well-being を最大化していくことをパーパスとして、みなさまの SX パートナーとなるべく活動をしています。今後も従業員や従業員が生活する自治体への感謝および SDGs 推進の一環として企業版ふるさと納税制度を活用し、自治体の取り組みを支援していきます。

■トランスコスモスの SDGs への取り組み (<https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/sdgs.html>)



トランスコスモスは“お客様の満足の大きさが我々の存在価値の大きさとあり、ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る”を経営の基本理念とし、責任ある企業活動と people&technology を軸とした事業を通じて、SDGs の達成に貢献します。

トランスコスモスは、SDGs の 17 の目標とそれぞれにかかわる経営戦略において、自社の持続的成長の観点からそのリスクと機会を分析・把握することが重要と考えています。そのため、トランスコスモスの事業・経営資源と SDGs との関係性を整理し、特に重要性の高い社会課題を優先的に目標設定して定期的な達成状況の確認を行う専任組織として、トランスコスモス SDGs 委員

会を設置しています。委員会では、従業員向け SDGs 教育(e ラーニング)、各部門代表者が参加する社内ワークショップの実施などを通じて、SDGs を軸とした社内外でのイノベーション活動を展開し、SDGs 活動の啓蒙と定着をはかっています。



※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です
※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 36 の国と地域・182 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)